

平成25年度
事業報告

社会福祉法人 むくもり福祉会

I . 法人本部

《総括》

25年4月から「障害者自立支援法」が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」となった。25年度においては、法の施行により法人経営への特段の影響はなかったと思われるが、検討規定で「障害者施策を段階的に講じるため、法の施行後3年を目途として細部について検討」することとされていることから、その推移を注意深く観察しながら対応策も併せて協議していきたい。

25年度は、利用者の重度・高齢化に伴う対応として、ぬくもりの郷を開所した。施設の目的である利用者・家族のニーズを総合的にサポートできる機関としては、サービス内容の検討の余地が残されているが、利用者・家族には緊急の際のセーフティネットとしての役割は認識してもらえたかと思われる。今後は、さらなるサービスの拡充とその啓蒙を図りたい。

また、制度の変更により相談支援専門員の作成する「サービス等利用計画」に基づいて、施設利用者の「個別支援計画」が作られるようになった。当法人では、3事業所が安城市の指定を受けて、相談支援事業を行った。25年度は、3事業所で延べ155人のサービス等利用計画を作成した。相談支援専門員とサービス管理責任者の連携を密にしながら、今後も適切に事業を行っていき、現在3事業所で兼務の相談支援専門員が行っている業務を27年度には1カ所で専従の職員が行えるよう研究検討を進めていきたい。

一方、支援サービスの向上や事故防止等のため各種委員会活動を実施した。特に25年度は4事業所で第三者評価を実施し、サービスの質の向上に努めた。さらに、虐待防止対応、リスクマネジメントにおいても研修等により理解を深めた。

「やる気のある人材の確保と育成」として、福祉・介護職員処遇改善加算を25年度も引き続き申請し、職員の処遇向上に努めた。職員の役割と職責の自覚、能力向上など、キャリアパスに対応した人事考課制度を導入していることで、意欲を引き出せる評価を行うことができ、25年度も複数の職員が国家資格を取得することができた。

課題として、職員構成が勤続3年未満の職員が13名、5年未満の職員が23名と、実に53%の職員が勤続5年未満の職員となっていることがあげられる。そのため、ベテラン職員等によるOJT研修を中心としながら、これまでの法人研修に加え事業所内研修を企画・実施した。これにより事業所特性の向上と独自の専門性の研鑽が図られた。

職員のワークライフバランスの観点からも勤続5年未満の職員の有休取得率は74%（1年以上3年未満は91%）となっており、若手職員が仕事とプライベートを上手に両立させていることがうかがえる。引き続き、働きやすい環境作りと職員定着に努めたい。

法人の財政状況は、当期の約4,600万円の繰越、前期と合わせて約2億9,700万円の繰越と全体的には安定しているが、利用者の定員充足や稼働率及び人件費比率に事業所ごとのばらつきが見られる。利用者の安定的な確保による経営の安定化が今後の課題である。

職員においては「施設運営」から「法人経営」への変革の意識も浸透させ、法人には事業継続と公益な取り組みに充てる資金が必要との理解を求めていく。今後は、「公益性な取り組みの一層の推進」により社会福祉法人としての存在意義を果たしていきたい。

決算内容としては前年度と比較して、ぬくもりの郷施設整備が終わり、予算規模は減少した。今後は、地域の福祉ニーズに対応するため、積極的に施設整備計画、専門性の高い人材の育成と確保を進める必要があるため、キャッシュフロー経営を前提として進め、財

務体質の健全化を図っていく。

今後とも、利用者・地域に選ばれる社会福祉法人として、時代に即応した福祉サービスを実施すべく、中長期計画に基づき、新規事業の展開や経営改革に取り組んでいきたい。

1. 運営事業

(1) 第二種社会福祉事業

- ア. 生活介護事業所ぬくもりの家（定員40名）
- イ. 生活介護事業・就労継続支援B型事業所ぬくもりワークス（定員60名）
- ウ. 生活介護事業所まるくてワークス（定員60名）
- エ. 共同生活介護事業所アットホーム（定員18名）
- オ. 相談支援事業（ぬくもりの家・ぬくもりワークス・まるくてワークス）
- カ. 生活介護事業所ぬくもりの郷（定員20名）
共同生活介護事業所ぬくもりの郷（定員11名）
短期入所事業所ぬくもりの郷（定員4名）

(2) 公益事業

ア. 地域生活支援事業

- 日中一時支援事業（ぬくもりの家・ぬくもりワークス・まるくてワークス・ぬくもりの郷）

2. 役員会の開催状況

(1) 第1回理事会・評議員会

- ア. 理事会 平成25年5月30日（木）ぬくもりの郷
出席理事7名・監事2名
- イ. 評議員会 平成25年5月30日（木）ぬくもりの郷
出席評議員13名・監事2名

(2) 第2回理事会

- ア. 理事会 平成25年8月1日（木）ぬくもりの郷
出席理事6名

(3) 第3回理事会・評議員会

- ア. 理事会 平成25年10月31日（木）ぬくもりの郷
出席理事6名・監事2名
- イ. 評議員会 平成25年10月31日（木）ぬくもりの郷
出席評議員13名・監事2名

(4) 第4回理事会・評議員会

- ア. 理事会 平成26年3月20日（木）ぬくもりの郷
出席理事6名・監事2名
- イ. 評議員会 平成26年3月20日（木）ぬくもりの郷
出席評議員10名・監事2名

(5) 監査会

- 平成25年5月16日（木）ぬくもりの郷会議室
出席監事2名・立会理事2名（理事長・鈴木理事）
施設長・事務局

3. リスクマネジメントの状況（延べ件数）

	ぬくもりの家	ぬくもりワークス	まるくてワークス	アットホーム	ぬくもりの郷	計
ヒヤリハット事例	10	2	5	0	2	19
事故報告	1	1	2	0	2	6
苦情報告	1	0	0	0	0	1
虐待事例	2	0	0	0	0	2

4. 第三者評価の受審状況

ぬくもりの家、ぬくもりワークス、まるくてワークス、アットホームが受審した。ぬくもりの郷は第三者評価調査者養成研修の実習先として受けた。

5. 職員研修の実施状況

法人主催の研修として、全職員を対象とし、年2回外部講師を招いて、自閉症についての研修を行った。また、階層別研修として、中小企業診断士を講師に招いて、基礎、初級、中級に分けて行った。

6. 会報の発行

法人の会報を発刊し、施設の内容などの紹介を行い、地域住民の理解を深めるよう努めた。

(1) 発行回数 年2回

(2) 発行部数 1, 100部

(3) 配布先 保護者・手をつなぐ親の会会員・福祉関係施設・行政機関
ボランティア団体・北明治連合町内会・赤松町内会・池浦町内会
学校等

7. 職員の状況（正規職員）

(1) 採用と退職状況（人）

	25年度末の職員数	25年度採用／退職		24年度採用／退職	
男	25	2	1	4	2
女	18	3	1	4	
計	43	5	2	8	2

(2) 有給休暇取得状況

勤続年数	-1年	2-3年	4-5年	6-10年	11-15年	16-20年	20年-	平均
取得率(%)	32.5	90.8	53.4	47.9	67.5	67.5	37.8	59.4
取得日数(日)	3.3	10.5	7.8	9.0	13.5	13.5	7.6	9.3

8. 借入金の状況

(1) 福祉医療機構からの借入状況（平成26年3月31日現在） 単位：円

借入目的	借入年度	借入金額	平成25年度償還状況	借入残高
まるくてワークス施設整備	17年	30,000,000	元金1,500,000 利息 262,500	18,000,000
ぬくもりの郷施設整備	24年	80,000,000	元金3,728,000 利息 971,055	76,272,000
計		110,000,000	元金5,228,000 利息1,233,555	94,272,000

(2) 借入金の償還財源の状況

単位：円

区分	金額	内 訳
元利償還金(平成25年度)	6,461,555	元金5,228,000 利息1,233,555
財 源		
自己資金	4,045,555	本部会計
補助金	2,416,000	愛知県（民間社会福祉施設運営費補助金）
平成26年度償還予定額	6,703,800	元金5,532,000 利息1,171,800

9. 寄付金の状況

(1) 事業活動による収支の部

	本部	ぬくもりの家	ぬくもりワークス	まるくてワークス	アットホーム	ぬくもりの郷
ぬくもりの家保護者会	2,255,600					
ぬくもりワークス保護者会	2,670,600					
まるくてワークス保護者会	3,098,000			10,000		
ぬくもりの郷保護者会	4,910,000					
保護者	2,680,000	35,895				
共同募金会						
企業・団体	11,964	49,468	30,000	44,916		146,000
個人		30,000	20,000	30,000		
計（円）	15,626,164	115,363	50,000	84,916	0	146,000

(2) 施設整備等による収支の部

	本部	ぬくもりの家	ぬくもりワークス	まるくてワークス	アットホーム	ぬくもりの郷
愛知県生命保険協会						701,531
計（円）	0	0	0	0	0	701,531

※福祉巡回軽自動車「ふれあい号」（ダイハツ ミラバン）

II. ぬくもりの家

《総括》

法人の基本方針である「利用者個人の尊厳を保持」しながら個々に対する支援を行ってきた。しかし、猛省すべき事例があった。25年度は障害者虐待防止法が施行された翌年度であり、虐待について特に注目を集める年であった。その中で、虐待防止法で義務づけられた「通報」案件が2件あった。これは、権利擁護意識を高めようと取り組んでいた矢先のことであった。これを受けて法人としても虐待防止委員会を設置したり、ぬくもりの家においてはミーティングや研修を重ねることで再発防止に努めてきた。保護者会においてもこのことについて協議してやはり再発防止に努めていくことを確認した。

今後も「権利擁護」「虐待防止」をキーワードにさらに利用者の最善の利益を追求し支援の充実を図っていく。

《生活介護事業》

1. 事業内容

- (1) 個別面談によりアセスメントを取り個別支援計画を立てた。それに従って支援を行った。また半期に1度のモニタリングにより支援が適切であったかを検証し、その後の支援計画及び支援に活かした。
- (2) 利用者の意向を尊重するべく個別面談時やアンケートによりニーズを把握し、プログラムや行事に反映させた。
- (3) 積極的に地域が開催する行事等に参加し、地域との交流の輪を広げた。

2. 年間利用実績

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数(人)	男性	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
	女性	18	18	18	18	18	18	19	19	19	19	19	19	222
	計	39	39	39	39	39	39	40	40	40	40	40	40	474
出席率(%)		92.3	93.8	93.2	91.0	90.1	93.1	87.4	93.1	91.8	92.1	87.8	93.3	91.6

※1. 在籍者数は初日在籍数

※2. 出席率は在籍数に対する出席率

3. 年間行事

月	日	施設行事				
5	2	健康診断				
	25	ぬくもりんピック				
	17・31	日帰り旅行（ラグーナ蒲郡）				
	20	嘱託医健診（精神科）				
6	7	いちご狩り				
	13	嘱託医健診（歯科）				
		芋の苗植え→雨天中止				
8	7	プラネタリウム				
	4	七夕まつり参加				
	30	納涼夏祭り				
9	9	嘱託医検診（内科）				
10		個別面談				
	13	北明治レクリエーション大会				
	28	芋掘り交流会				
	2・9	日帰り旅行				
11	18	嘱託医検診（精神科）				
	2・9	日帰り旅行（名古屋港水族館）				
12	6	ぬくぬくふれあいコンサート				
	13	クリスマス会				
1	7	初詣				
	10	新年会				
2	3	豆まき				
	27	プラネタリウム				
3	1	お楽しみ会（ボウリング・カラオケ大会）				
	10	嘱託医検診（内科）				
月行事		誕生日会	外食実習	合同レク	音楽療法	合同カラオケ
		サークル活動	体重測定			

4. ボランティア受入状況（延べ人）

区 分	計	区 分	計	区 分	計
一 般	15	大学・専門学校	27	社 協	6
北明治ネット	41	岡崎家裁	0	民生委員	24
J A青年部	12	高 校 生	10		
音楽協会	6	中 学 生	52	合 計	193

5. 実習生受入状況（延べ人）

区 分	計	区 分	計	区 分	計
中 学 生	76	大 学 生	129	学 校 教 諭	2
養護学校	7	高 校 生	59	合 計	273

《日中一時支援事業》

1. 事業内容

(1) 日中における活動の場を確保し、利用者の情緒安定を図ると共に、家族のレスパイトを目的に事業を行った。

2. 年間利用実績（延べ人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数							1						1

《相談支援事業》

1. 事業内容

(1) 安城市の指定を受けて特定指定相談支援を行った。受給者証更新時や区分更新時に本人や家族、市の調査員、事業所職員と同席してサービス等利用計画を作成した。

2. 年間サービス等利用計画作成者数（延べ人）

事業所名	ぬくもりワークス	ぬくもりの郷	一 般		計
利用者数	48	6	6		60

Ⅲ. むくもりワークス

《総括》

25年度より就労継続支援B型と生活介護の多機能型事業所として、生産活動を主体に取り組んできた。個別支援計画に基づき個人の特性に合わせた支援や基本的な社会性や生活習慣を習得できるように心掛けてきた。また、日中一時支援や相談支援事業を行い、法人利用者以外の方にもサービスを提供できるよう努めてきた。

国の指針でもあるように利用者の工賃向上を目指してきた。授産事業の柱であり5年の開所以来、作業提供を受けていた「(株)アピックス」の本社が10月に幸田町へ移転することとなり、施設の目玉でもあったスポット溶接作業が終了することになった。作業と売上額の減少を補うために、まるくてワークスと連携して風呂掃除作業の移管、安城商工会議所やデンソー高棚工場よりエコキャップ関連の作業を受注できた。授産事業の売上高は、約2,200万円(前年比20%増)となり、安城市からの委託事業は売上高の67%となっており、減収にならないよう来期も行政等と良き関係を継続していきたい。工賃支給額は、一ヶ月平均で就労継続B型は約44,000円、生活介護は約6,000円支給、ともに前年額を上回ることができた。

1. 事業内容

《生活介護》

- (1) 作業をとおして情緒的な安定を図り、利用者の主体性を育んだ。基本的な社会性や生活習慣を習得できるよう心掛けた。また、自主製品(パウンドケーキ)などを豊田自動織機安城工場や万能工業に、毎月1回昼休憩時間を利用して出張販売に、さらに公民館祭りや福祉センターまつり等に積極的に参加した。
- (2) 講座活動(生け花、音楽療法、創作、書道)で活動の幅を広げることができ、町内文化祭やむくもり美術展など作品を出展して地域交流を図った。
- (3) 看護師による血圧測定など健康管理を行い健康管理に努めたが、2月に利用者や家族がインフルエンザに罹患、また、他事業所との併用利用(3名)、5月以降自己都合やケガで年度末まで欠席(2名)、加齢による体調不良などで年間の平均出席率が低い要因となった。

《就労継続支援B型事業》

- (1) 個別支援計画に基づき、個人の特性に合わせた支援を行うとともに、主に施設外作業に取り組んだ。さらには、西三河障害就業センターより講師を招き「就労セミナー」を2回開催し、就労に向けた意識を利用者に促し支援した。
- (2) 「(株)金星工業」の社員の方に向けて障がい者の特性を理解してもらうよう努め、企業内実習を実施できるよう交渉を行った。(26年度実施予定)
- (3) 新たな作業として、まるくてワークスと連携して有料老人ホーム「グレイシャスビラ」のお風呂掃除等の作業を10月より引き継いだ。さらに「安城商工会議所」「ミカテック」等からの軽作業も取り入れた。

2. 年間利用実績

《生活介護》

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数(人)	男性	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	432
	女性	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
	計	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	528
出席率(%)		92.9	84.5	91.3	87.3	86.4	88.3	83.8	86.3	89.8	88.3	76.1	87.6	86.9

《就労継続支援B型》

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数(人)	男性	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
	女性	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
	計	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
出席率(%)		95.9	102.0	97.9	95.0	100.8	97.5	96.3	99.3	97.1	97.5	96.8	98.3	94.8

※1. 在籍者数は初日在籍数

※2. 出席率は在籍数に対する出席率

3. 保護者との連携

- (1) 個別支援計画書について、本人・保護者と三者面談や課別懇談を行い、家庭との連携を強化した。
- (2) 保護者会研修では、ぬくもりの郷の見学に調整と協力した。
- (3) 恋塚まつりに模擬店出店の協力を得た。

4. 地域との交流

- (1) 赤松保育園児を招待し、じゃが芋掘りを行った。また、町内有志の方ともちつき大会を行って交流をした。
- (2) 赤松町内夏祭りや福祉センター・公民館祭り、市内市外の福祉施設や企業の祭り等に参加し交流を図った。
- (3) 「恋塚まつり」や施設活動に多くのボランティアを受け入れ、交流を図ることができた。

5. 年間行事

月	日	施設行事
4	1	入所式
	10	保護者会総会
	15	県障害者スポーツ大会
5	8	健康診断
	28	避難訓練
6	3	いちご狩り
	9	全国障害者スポーツ大会北信越東海ブロック大会
	10	赤松保育園芋掘り交流会
	12	就労セミナー
	28	嘱託医検診（内科）
7	9	保護者会
	28	赤松町内夏祭り
	29	嘱託医検診（精神科）
9	14	恋塚まつり
10	2	福祉協会ソフトボール大会
	3	愛知県歯科検診
	6	福祉祭
	8	保護者会
	22	福祉コンサート
	27	福祉体育祭
	30	日帰り旅行
11	6	日帰り旅行
	13	ぬくぬくふれあいコンサート
	28	嘱託医検診（内科）
12	4	就労セミナー
	16	避難訓練
	18	お楽しみ会

1	6	初詣			
	14	餅つき			
	15	成人式			
	17・18	赤松町内公民館祭り作品出展			
	28	保護者会勉強会			
2	3	嘱託医検診（精神科）			
	5	第三者評価受審			
	18	保護者会			
3	3	赤松保育園ひな祭り会			
	11～16	ぬくもり美術展			
	13	嘱託医検診（内科）			
	26	ぬくもりアワード			
月行事	音楽療法	生け花	創作活動	書道	体重測定
	血圧測定	外食実習(隔月)			

6. ボランティア受入状況（延べ人）

区分	計	区分	計	区分	計
一般	128	民生委員	24	高校生	10
保護者	5	生け花	24	合計	191

7. 実習生受入状況（延べ人）

区分	計	区分	計	区分	計
中学生	8	大学生	122	学校教諭	4
養護学校	27	高校生	48	合計	209

8. 施設設備改善

- (1) 玄関北側雨避けテラス設置
- (2) 北側フェンスの老朽化に伴う改修工事

9. 授産事業

(1) 作業指導のねらい

利用者の適応性に応じた作業の技術習得と将来自活すべき社会性を養うこと。

(2) 資源化センター等安城市との業務委託を継続できた。

(3) 工賃の支給額を作業状況、生活態度、対人関係を総合的に評価し決定した。支給基準の見直しを年2回職員会議にて行った。

10. 作業内容（作業別収入）

《生活介護》

取引先	売上高（円）	内容
永井クランプ	219,450	自動車部品の組立
アピックス	1,576,288	自動車部品の組立
富士カーボン	754,300	自動車部品の加工
フジイ化工	137,642	エコキャップ選別
名鉄百貨店	278,611	販促商品梱包作業
万能工業（株）	59,689	自動車部品の組立
デンソー（株）高棚製作所	50,000	エコキャップパネル作成
アンジョウハーツ（商工会議所）	437,227	キャップパネル梱包、商品梱包等
安城七夕まつり協賛会	225,000	ペットボトル洗浄、処理
自主製品	222,055	縫製品製造・販売
菓子製造	1,310,937	菓子の製造・販売
名刺印刷	65,376	名刺の印刷
アルミ缶販売（安城貿易）	8,640	アルミ缶回収
西三河セルプ	45,686	委託販売
ユニオンサービス	235,634	委託販売
小笠原製粉（株）	81,300	委託販売（キリンラーメン）
まるくてワークス商品	98,970	委託販売（かりんとう、珈琲豆）
ナカムラ製菓	713,710	委託販売（せんべい）
その他	20,190	資源ごみ回収販売
合計	6,540,705	

《就労継続支援B型》

取引先	売上高（円）	内 容
農作物	70,745	農作物の販売
段ボールコンポスト	147,360	製造販売
アピックス	58,942	自動車部品の組立
安城市（EMボカシ）	2,774,000	EMボカシの製造、配達
安城市（清掃事業所）	9,760,000	ペットボトル仕分け作業
安城市（清掃事業所）	1,844,280	ビン選別作業
安城市（維持管理課）	53,000	リサイクル自転車の清掃
安城市（こども課）	110,985	あさがお、ゴーヤ苗育成、配達
グレイシャスビラ	459,384	お風呂、ベランダ掃除
ミカテック	18,900	軽作業
合 計	15,297,596	

11. 工賃支給実績

《生活介護》

4月～3月工賃支給額計 3,256,945円
 1ヶ月平均工賃支給額 6,168円（1人当たり・賞与含む）

《就労継続支援B型》

4月～3月工賃支給額計 7,532,326円
 1ヶ月平均工賃支給額 44,835円（1人当たり・賞与含む）

《日中一時支援事業》

1. 事業内容

（1）日中における活動の場を確保し、利用者の情緒安定を図ると共に、家族のレスパイトを目的に事業を行った。

2. 年間利用実績（延べ人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	10	12	8	10	9	8	10	9	8	10	8	7	109

《相談支援事業》

1. 事業内容

(1) 安城市の指定を受けて特定指定相談支援を行った。受給者証更新時や区分更新時に本人や家族、市の調査員、事業所職員と同席してサービス等利用計画を作成した。

2. 年間サービス等利用計画作成者数（延べ人）

事業所名	まるくてワークス	ぬくもりの郷	一 般		計
利用者数	29	7	14		50

IV. まるくてワークス

《総括》

24年度より多機能型事業所（就労移行支援事業・生活介護事業）として運営を行ってきたが、就労移行支援事業（定員12名・現員16名）の利用者12名を一般就労等で送り出したことと、ぬくもりの郷への異動もあり、24年度は現員が64名であったが、25年度からは49名となった。運営上の効率性と49名の利用者の支援体制を考え、生活介護事業の一本化を7月より図った。また、ピアゴ安城店で営業していた「ぬくもり横丁」も閉店し、本体施設での日中活動に重きを置いて支援をした。

1. 事業内容

《生活介護》

- （1）サークル活動（スポーツ・レクリエーション及び文化活動）を選択・参加をし、相互交流を図るとともに楽しく健やかに過ごすことができる環境づくりを行った。
- （2）利用者の主体性を尊重して個別支援計画を作成し、安定した日常生活が営めるよう計画に基づき支援を行った。
- （3）生産活動をとおして得た作業収入を工賃・賞与として支払った。

《就労移行支援事業》（4月～6月）

- （1）昨年度に引き続き施設外就労（企業実習）に力を入れ、トライアル雇用に結びつけ2名の一般就労を支援した。
- （2）利用者本人の希望職種にあった市内就労系事業所への実習から2名が移行した。
- （3）利用者が4名となり、6月末をもって就労移行支援事業を閉所した。

2. 年間利用実績

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	男性	31	30	30	28	28	28	28	28	28	28	27	27	341
	女性	24	23	23	23	23	23	22	22	22	22	22	22	271
	計	55	53	53	51	51	51	50	50	50	50	49	49	612
出席率(%)		88.6	82.3	84.3	90.2	87.0	84.3	88.1	88.4	87.1	85.8	89.0	85.5	86.7

※1. 在籍者数は初日在籍数

※2. 出席率は在籍数に対する出席率

3. 地域との交流

- （1）第8回「まるくてBANG! BANG! 夏まつり」を池浦町内会をはじめ、市内関係施設等の協力により開催した。
- （2）地元町内会行事（敬老会、芸能まつり）や子供会行事に会場として施設を貸与したり、池浦にある天満宮の大祭・納涼まつり・町内清掃に参加をし交流を図った。

4. 年間行事

月	日	施設行事				
4	29	池浦町大祭				
	30	健康診断				
6	8	避難訓練				
	10	いちご狩り				
7	6	嘱託医検診（内科）				
	24	嘱託医検診（精神科）				
	27	まるくてBang! Bang! 夏まつり				
9	3	アンサンブル演奏会				
	11	高浜高校体育祭				
	27	日帰り旅行				
	30	避難訓練				
10	3	県ソフトボール大会				
	22	名フィルコンサート				
	28	安城市福祉体育祭				
11	3	県フットベースボール大会				
	7	県歯科診療				
	13	ぬくぬくふれあいコンサート				
	20	嘱託医健診（内科） 予防接種				
12	25	クリスマス会				
1	6	初詣				
	15	成人式				
	17・24	新年会&ボウリング大会				
	23	DEPもちつき大会				
	29	嘱託医健診（精神科）				
	31	避難訓練				
2	3	豆まき				
3	31	年度末反省会				
月行事		誕生日会	外食実習	体重測定	音楽療法	合同カラオケ
		サークル活動				

5. ボランティア受入状況（延べ人）

区 分	計	区 分	計	区 分	計
一 般	302	中高大学生	6	専門学校生	29
池浦福祉委員	15	レクボラ	41	民生委員	22
職場体験中学生	27			合 計	442

6. 実習生受入状況（延べ人）

区 分	計	区 分	計	区 分	計
専門学校生	15	大 学 生	50	学校教諭	2
養護学校	12	高 校 生	60	合 計	139

7. 授産事業

（1）作業指導のねらい

利用者個々の適応性に応じた作業の技術習得と「はたらく」ことへの喜び・生きがいを持ってもらえるよう支援した。

（2）工賃の支給額を作業状況、生活態度、対人関係を総合的に評価し決定した。

8. 作業内容（作業別収入）

取引先	売上高（円）	内 容
永井クランプ	252,000	自動車部品の組立
グレイシャスビラ	551,400	お風呂、ベランダ掃除
プッツ フラウ	694,970	アパート掃除
サカキバラコーポレーション	233,705	バリ取り
大見工業	682,791	チップソー防錆液添付・箱詰め
ケーエス開発	573,200	ロート
安城市清掃事業所	260,000	土嚢袋
安城市委託粉石鹼	819,000	粉石鹼製造
自主製品販売	369,899	布草履・マットなど
山田製菓	2,873,389	かりんとう・ドーナツ販売
タクマ産業	340,431	ダクトシール貼り・パッキン
増田煙火	193,751	花火組み付け
農作物	850	野菜
安城スタイル	212,798	ごちソース・南吉クッキー等
ゴミ袋	342,860	安城市指定ゴミ袋販売
セルプ	9,249	共同販売
型善	42,500	ノーパンクタイヤ
コーヒー豆	1,396,860	自家焙煎珈琲製造販売
シン英鋼業	11,718	アルミ缶
玩具	127,445	おもちゃ
その他	34,096	狐、豚の置物
合 計	10,022,132	

9. 工賃支給実績

《生活介護》

4月～3月工賃支給額計 4,537,233円
 1ヶ月平均工賃支給額 7,716円（1人当たり・賞与含む）

《就労移行支援》

4月～6月工賃支給額計 201,300円
 1ヶ月平均工賃支給額 16,775円（1人当たり・賞与含む）

《日中一時支援事業》

1. 事業内容

(1) 特別支援学校生や在宅又は就労等している障害者の平日の日中における活動の場を提供し、情緒の安定を図るとともに家族のレスパイトを目的に事業を行った。

2. 年間利用実績（延べ人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	5	11		4	1	8	6	3	3	5	23	27	96

《相談支援事業》

1. 事業内容

(1) 安城市の指定を受けて特定指定相談支援を行った。受給者証更新時や区分更新時に本人や家族、市の調査員、事業所職員と同席してサービス等利用計画を作成した。

2. 年間サービス等利用計画作成者数（延べ人）

事業所名	ぬくもりの家	ぬくもりワークス	ぬくもりの郷	一般	計
利用者数	23	2	2	18	45

V. アットホーム

《総括》

アットホームでは、利用者が笑顔で安心して暮らしていける生活の場を提供している。

めろんぱん、フルハウス、こやまホームの3ホームでは生活をともにする世話人の異動があり、大きな生活環境の変化となった。利用者、保護者との信頼関係作りを行ってきたが、こやまホームにおいては、家庭への連絡不足のため不信感を与えてしまったことがあった。保護者が利用者を安心してホームへ預けられる環境作り、特に保護者への連絡や相談をこまめに行い、常日頃からの信頼関係を構築する必要性があると改めて感じられた。

1. 事業内容

- (1) 利用者が自立を目指し、地域において共同生活を営むことができるように個別支援計画を作成し、それに基づき世話人等より生活する上で苦手な部分（食事や健康管理等）の支援を受け、安心して生活できるよう努めた。
- (2) 地域との結び付きを重視し、体育祭、防災訓練、町内清掃等へ参加するなど地域住民と理解を深めるよう努めた。また、安城市や他事業所、相談支援事業者と連携を取り総合的なサービス提供に努めた
- (3) あかまつホーム閉鎖に伴い、利用者4名のうち、3名はぬくもりの郷ホーム、1名はフルハウスへ生活の場を移した。
- (4) こやまホーム利用者の退居に伴い、空いた居室を有効活用し、新たに利用を希望される方の体験利用を進めた。
- (5) 誕生日会、クリスマス会、豆まき、バレンタインデーなど季節に合わせたアットホームなイベントを企画し温かみのある生活環境を実現してきた。
- (6) めろんぱん、フルハウス合同のバーベキューを企画し地域の方にも声をかけて同じ時間を過ごしたり、池浦地区の盆踊りの催しに参加して地域交流をした。
- (7) 利用者・家族の高齢化に伴い「土日もホームで過ごせるようにしてほしい」というニーズは依然高い。バックアップ施設と連携（役割分担）してニーズに応じていくことが課題である。

2. 年間利用実績

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍数者(人)	男性	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14	177
	女性	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	計	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17

3. 住居ホーム（定員18名）

- (1) めろんぱん（利用者4名）安城市柿碓町
- (2) ホームぬくもり（利用者4名）安城市大東町
- (3) フルハウス（利用者5名）安城市池浦町
- (4) こやまホーム（利用者5名）安城市新田町

VI. むくもりの郷

《総括》

むくもりの郷は、利用者の生活を総合的に支援することを目的とした事業所であり、本来別の事業である生活介護事業、共同生活介護事業、短期入所事業、日中一時支援事業が有機的に連携できる仕組みづくりに努めてきた。26年度に向けた準備期間として、カリキュラムに始まり、支援内容、職員の勤務シフト等も模索しながら試行錯誤を繰り返し、ある一定の形になってきたと思われる。今後に向けた課題も明確になってきており、基本理念に基づいた支援体制の充実をさらに図りたい。

《生活介護事業》

1. 事業内容

- (1) 適切な方法により、利用者の有する能力、置かれている環境及び日常生活全般の状況等の評価を通じて利用者の希望する生活や課題等の把握を行い、利用者が自立した日常生活を営むことができるように支援する上での適切な支援内容を検討した。
また、利用者の心身の状況、置かれている環境等に照らし、利用者が自立した生活を営むことができるよう定期的に検討するとともに、必要な支援を行った。
家族との連携を強めていくために、年2回の個別面談を実施したり、必要に応じて個別の相談援助・通院支援を行った。
- (2) 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、排泄及び食事の介護、入浴、創作的活動の機会の提供を適切かつ効果的に行うよう努めた。
入浴においては、利用者の健康状態への配慮、利用者・家族の意向を尊重しながら、サービスの提供に努めた。
創作活動においては、3月に市民ギャラリー作品展を開催し多くの来場者に作品を見てもらうことで、利用者の創作意欲の向上と自信につなげることができた。
- (3) 地域との結び付きを重視し、7月に感謝イベントの開催、地域交流ひろばの営業を通じての地域交流との交流を輪を拡げるよう努めた。

2. 年間利用実績

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	男性	8	8	8	9	9	9	9	9	9	10	10	10	108
	女性	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
	計	14	14	14	15	15	15	15	15	15	16	16	16	180
出席率(%)		87.8	87.7	85.0	75.4	88.4	93.0	89.6	82.2	88.7	90.3	92.6	92.6	87.8

※1. 在籍者数は初日在籍数

※2. 出席率は在籍数に対する出席率

3. 年間行事

月	日	施設行事				
4	1	入所式				
5	1	健康診断				
6	7	いちご狩り				
7	7	感謝祭				
	8	嘱託医健診				
10	11	日帰り旅行（名古屋港水族館）				
	22	福祉コンサート				
	30	さつまいも収穫祭				
11	13	ぬくぬくふれあいコンサート				
	19	嘱託医検診				
12	24	クリスマス会				
1	17	新年会				
2	25	映画館映画鑑賞				
3	5	朝のひとときコンサート				
	7	木下サーカス観覧				
	17	嘱託医検診				
	11~16	ぬくもり美術館				
月活動	誕生日会	外食実習	チャレンジスポーツ	3B体操	アート書道	
	音楽	リラクゼーション				

4. ボランティア受入状況（延べ人）

区分	計	区分	計	区分	計
一般	2	大学・専門学校	4	サークル講師	55
中学生	16			合計	77

《短期入所事業》

1. 事業内容

(1) 居宅において介護を行う者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする利用者に対し、その利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて必要な支援を行った。

主には「家族の入院」「家族の不幸」などの緊急時対応と「将来に向けて宿泊訓練がしたい」という希望、さらには「家族の介護負担の軽減」のニーズがあり、なるべくニーズに応えるよう努めた。

(2) グループホームとの併設型であるため、まずはグループホーム利用者の生活の安定を優先し、10月から事業を開始した。受け入れも特に安全面を十分に配慮するように努めた。

(3) 利用者の意志及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスの提供を行うことができるよう、事前に施設への訪問等を行い利用者の状況を把握に努めた。

2. 利用実績（25年度は10月から事業開始）（延べ人）

事業所名	ぬくもりの家	ぬくもりワークス	まるくてワークス	ぬくもりの郷	計
利用者数	37	20	23	20	100

《日中一時支援事業》

1. 事業内容

(1) 日中における活動の場を確保し、利用者の情緒安定を図ると共に、家族のレスパイトを目的に事業を行った。

(2) 25年度は土曜日のみ実施したが、グループホームの将来的な365日体制に向け、職員間の連携、支援体制の確立に努めた。

2. 利用実績（延べ人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	33	24	54	32	56	65	69	74	50	57	62	77	653